

日本 CBRNE 学会 / NBCR 対策推進機構共同主催シンポジウム 生物(B)災害 ー再興感染症と多剤耐性菌ー



再興感染症の脅威とその対策

日本医師会、東京都医師会、全国消防長会、防衛技術協会 後援

【シンポジウム】

日 時: 2026 年 9 月 27 日(日)

10:00~17:00 (9:30 受付)

場 所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

(センター棟)

最寄駅: 小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分)

テーマ: 生物(B)災害ー再興感染症



日本 CBRNE 学会
理事長 石井正三



NBCR 対策推進機構
理事長 石原雅之

参加費: 会場参加; 会員 5,000 円、非会員 6,000 円 (昼食およびお茶付)

WEB 同時配信或いはオンデマンド配信参加; 会員 5,000 円、非会員 6,000 円

* 懇親会及び企業展示会は実施しません。

* 日本医師会生涯教育; 2 単位 (現地参加のみ)、CBRNE 災害危機管理者認定; 1 単位が付与されます。

シンポジウム趣旨

再興感染症とは、その発症が一時期は減少していたが、再び注目されるようになった感染症に対する総称です。抗生物質などの発達により一時期は制圧できたものの、何らかの原因で再度公衆衛生上問題となった疾患を指します。現在再興感染症に挙げられるものとして、結核、マラリア、デング熱、狂犬病、黄色ブドウ球菌感染症などがあります。一旦制圧した感染症が再度増加する原因として①耐性菌の増加、②地球温暖化による生態系の変化、③病原性の強毒化、④交通手段の発達などがあげられます。

また、再興感染症として薬剤耐性 (AMR) の発生は医療機関では大きな問題になって来ています。災害時の医療は、医療を必要とする人々 (需要) と医療を提供する人々や必要となる物品 (供給) のバランスが崩れた状態といわれています。AMR の分野では、抗菌薬の供給不足や新規抗菌薬の研究開発の遅れが平時から発生しており、常に供給側が不安定な傾向です。この状況下で、地震や台風等によって引き起こされる大災害が同時期あるいは同時多発的に発生した場合、AMR あるいは抗菌薬の供給不足はさらに深刻になり、需要と供給のバランスが大幅に崩れることで、AMR そのものが災害になる恐れもあります。

本シンポジウムは対象者として消防職員、自衛隊員、防災専門家、医療従事者の専門家が一同に会する場において情報を共有するとともに、関連企業や一般市民にも普及啓発をして参ります。

CBRNE とは、C : chemical 化学的、B : biological 生物学的、R : radiological 放射線、N : nuclear 核、E : explosion 爆発、をまとめて表記したものです。これらの事象による特殊災害は「CBRNE 災害」と総称されます。もう一方の概念は単一で単純な事象としての水害や地震などの「一般災害」になります。災害事象は 大規模化すれば CBRNE 災害を含めた複合災害になるのです。

プログラム

午前の部 (10:00～11:35) ※会場受付 9:30～

1. 開会挨拶 (10:00～10:05) 石井正三 (日本 CBRNE 学会理事長)
総合司会 石原雅之 (NBCR 対策推進機構理事長)
2. 講演 1 (10:10～10:55) 青野茂昭 (国土舘大学体育学部スポーツ医科学科・救急システム研究科
救急システム専攻、教授)「病院内再興感染症対策」
3. 講演 2 (11:00～11:45) 加來浩器 (防衛医科大学校防衛医学研究センター長、教授)
「新興・再興感染症の基礎」

昼食および交流・懇談会 (11:45～13:15)

午後の部 (13:15～16:50)

4. 講演 3 (13:15～14:00) 長谷川学 (京都大学大学院医学研究科ヘルスセキュリティセンター、教授)
「新興・再興感染症の脅威と対策」
5. 講演 4 (14:05～14:50) 佐々木広一 (広島国際大学保健医療学部教授)「救急活動における環境衛生
—救急活動での二次感染防止と環境衛生の重要性—」
6. 講演 5 (14:55～15:40) 木下学 (防衛医科大学免疫・微生物学講座教授)「抗生剤に依らない免疫
機能強化策」
7. 総合討論 (15:45～16:40)
8. 閉会挨拶 (16:40～16:50) 石原雅之 (NBCR 対策推進機構理事長)

日本 CBRNE 学会／NBCR 対策推進機構共催シンポジウムに参加される方は下記のいずれかの方法にてお申し込みをお願い致します。

- ① お申込み & 決済システム (QRコードからのお申込み)
クレジット払い、コンビニ払いも可能になります。
<https://nbcrcbrne0927.peatix.com/view>
- ② メール或いは FAX にて下記必要事項をお送りください。

氏名 _____

Eメール _____ 携帯電話 () _____

<会員種別> 会員 ・ 非会員 (どちらかに○を下さい)

<シンポジウム> 会場参加 ・ オンデマンド参加 (どちらかに○を下さい)

※お申込み後、事前のお振込みをいただく口座番号をお知らせいたします。



【お問い合わせ先】

事務局: NBCR 対策推進機構 東京都港区赤坂 4-9-25 新東洋赤坂ビル3階

担当: 岡部・遠藤・石原

TEL: 03-5829-6187 FAX: 03-5829-6197

HP: <https://nbcrcbrne0927.peatix.com/view>、E-mail: info@nbcrcbrne0927.peatix.com